

報道関係各位

2025年12月24日
ROBO-HI 株式会社

AIロボカメラ「RoboVision」劇場/推し活向けケーススタディ集を無料公開 ～シリーズ最終弾。「推し活」を革新するマルチアングル配信を紹介～

マルチベンダー・ロボプラットフォーム「ROBO-HI® OS」の開発を手がける ROBO-HI 株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:谷口 恒)は、AI ロボカメラ「RoboVision」のケーススタディ集のシリーズ最終弾(第四弾)として、「劇場/推し活編」を本日公開しました。

【無料公開！AI ロボカメラ「RoboVision」劇場/推し活向けケーススタディ集】

「推し活」という言葉が定着して久しい昨今、劇場やライブハウスにおける映像配信のニーズは高まり続けています。本ケーススタディでは、従来の全体撮影に加え、AI ロボカメラ「RoboVision」を活用することで、ファンそれぞれが「自分の推し」を「自分だけのアングル」で楽しめる、次世代の映像体験「推しビジョン」を提案します。下記より無料でダウンロードいただけます。

ダウンロードはこちらから：<https://www.robo-hi.jp/robo-hi/robovision#case>

※第一弾「観光地編」、第二弾「ローカル線編」、第三弾「防災・警備編」も無料でダウンロードできます。



推しビジョンの例

【「推しビジョン」が実現する新しい視聴体験】

1. アイドルユニット×複数台構成による「個」へのフォーカス

例えば3人組のアイドルユニットの場合、3台の RoboVision を配置し、それぞれのメンバーを個別に追尾・撮影します。これにより、ファンは従来の全体映像を見るだけでなく、自分の「推し」だけを追いかけた映像を、任意のアングルで堪能することができます。

2. 学習機能による高度なカメラワーク

RoboVision の AI 学習機能により、演目や動きの特性を理解した高度なカメラワークを実現。有人撮影に匹敵、あるいはそれ以上の没入感のある映像を提供します。

3. 劇場収入 + α の収益モデル「ハイブリッド興行」の進化

劇場にカメラが入ることで「劇場収入 + 配信収入」というモデルが定着しましたが、RoboVision による「推しビジョン」は、さらに多様な視聴ニーズに応える高付加価値なコンテンツを提供します。これにより、興行主様や配信事業者様に新たな収益機会をもたらします。

【無料公開 AI ロボカメラ「RoboVision」ケーススタディシリーズ一覧】**第一弾：観光地編**

絶景スポット等の各観光地に設置し、「新たな眺望体験の提供」と「無人運用による収益化」により観光 DX を推進します。

第二弾：ローカル線編

対象となる複数の駅に RoboVision をそれぞれ設置し、そのグループ全体を「ロボビジョンズ」として連携させ、多視点からの撮影で新たな映像コンテンツを創出します。

第三弾：防災・警備編

クマ被害への対策、水難事故の早期通報、火山活動の監視など、新たな社会課題の解決と安全・安心な社会の実現に貢献してまいります。

【今後の展開】

本シリーズでは、観光、ローカル線、防災・警備、そして劇場/推し活と、多岐にわたる RoboVision の活用可能性をご紹介してまいりました。ROBO-HI 株式会社は今後も、AI とロボティクス技術を融合させ、産業の効率化だけではなく、人々の生活や趣味をより豊かにするソリューションの提供を推進してまいります。

【RoboVision アプリをお試しください】

アプリをダウンロードして、AI ロボカメラによる新しい視覚体験をお試しください。

App Store URL :

<https://apps.apple.com/jp/app/robovision/id674360474>



Google Play URL :

<https://play.google.com/store/apps/details?id=robohi.robovision&hl=ja>

**【お問い合わせ】**

現在、配信事業者を募集しております。下記お問い合わせフォームよりご連絡ください。

ROBO-HI 株式会社 営業本部

お問い合わせフォーム：https://www.robo-hi.jp/contact/other_contact

【ROBO-HI 株式会社】

「ロボを社会インフラにする」というビジョンのもと、創業以来培ってきた幅広いロボ技術・遠隔監視/制御技術を基に、世界中のロボが最大限の性能を発揮できるマルチベンダー・ロボプラットフォーム『ROBO-HI® OS(ロボハイ® オーエス)』をスマートシティ・スマートエアポート・スマートホスピタルへと全国展開しています。生活を豊かにするライフモビリティ『RakuRo®(ラクロ®)』、『DeliRo®(デリロ®)』、『PATORO®(パトロ®)』、空港や広い施設で活躍するインダストリアルモビリティ『RoboCar®(ロボカー®)』と、『ROBO-HI®』が連携によって省力化・省人化に貢献してまいります。

本社：東京都中央区晴海 1-8-8 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーW 棟 14F

HP：<https://www.robo-hi.jp/>